



ら び っ く  
**La・BOOK**

7月号  
No.13

中央図書館の企画コーナー

**山登りはじめませんか!**

登山やトレッキングに、気持ち良く楽しめる季節になりました。そこで、初心者から上級者まで、山好きの全てみなさんの役に立つ、山登りに関する情報満載の企画コーナーを設けました。「トレッキング」「登山道・山小屋を知る」「写真集」「装備」「山岳小説」「ルート案内」の6つのブロックに分けてあります。あわせて、世界遺産に登録されました「富士山」に関する図書も追加しました。写真を見るだけでも楽しんでいただくことと思いますので、ぜひ手に取ってみてください。

展示資料 151点

- 『燕岳』岩橋崇至／毎日新聞社
- 『山小屋物語』水沢周／講談社
- 『たのしもう光城山』／楽々安曇野
- 『日本百名山』深田久弥／新潮社
- 『山麓トレッキング花ガイド』中村至伸／ほおずき書籍
- 『75歳のエベレスト』三浦雄一郎／日本経済新聞出版社
- 『田部井淳子の楽しい! 山登り入門』田部井淳子／PHP 研究所
- 『アルプスを越えろ! 激走100マイル』鈴木毅／新潮社

明科図書館

奮闘! 調べもの日記(シファレンス)



明科でのサケの遡上  
いつまであったの?

海から約 280km 離れたこの明科でもサケ漁の歴史は古く、1000 年以上前に伊勢神宮へ献上したという記事や江戸時代には年貢として納められたという記述(明科町史上巻)があります。

しかし、私たちが使う電力の増加にともなって、次々と建設されるダムで信濃川水系がせき止められ、遡上するサケは昭和の初めから目に見えて数が減り、昭和 15 年頃にはとうとう途絶えてしまったのです。

現在では、ニジマスとブラウントラウトを親に持つ「信州サーモン」が、安曇野を代表する食材のひとつとして話題を集め、私たちの食卓を彩っています。

【関係資料】

- 『明科町史』(上・下) 明科町史編纂会/1984 年
- 『信濃の青竜 犀川』国土交通省/1994 年
- 『信州学ノート』市川健夫/信濃教育会出版/1994 年
- 『水とともに』信濃毎日新聞社/1991 年
- 安曇野市ホームページ「安曇野水物語」
- 信濃毎日新聞データベース
- 国土交通省千曲川河川事務所ホームページ

- 『私の山道具』H=tte BOOKS/山と渓谷社
- 『山のミステリー』工藤隆雄/東京新聞
- 『還るべき場所』笹本稜平/文藝春秋

私と図書館

私は孫の子守りをするようになってから、再び絵本を読むようになりました。息子が小さかった頃は絵本を借りによく図書館へ通ったものです。

家に眠っていた絵本を、久しぶりに手に取り読んであげると、孫は喜んで聞いています。家にある本を読みつくしてしまおうと、孫はお母さんと図書館へ行って、絵本を借りてきます。その中から、読んでほしい本を選んで「おばあ、この本よんで」と持ってくるのを嬉しく思っています。おかげさまで、私もまた図書館へ通うことが増えました。

そんな孫も3歳になり、保育園へ通うようになってからは、一緒に絵本を読む時間も少なくなりました。それでも「おばあ、この本よんで」と持ってきてくれる間は、いっぱい読んであげようと思っ  
(60歳女性)



## 6月貸出ランキング

### 一般書

- 1 また次の春へ／重松清
- 2 五二屋傳蔵(くやびんぞう)／山本一カ
- 3 禁断の魔術／東野圭吾
- 〃 ソロモンの偽証 第1部／宮部みゆき
- 〃 心／姜尚中
- 〃 沈黙の町で／奥田英朗
- 7 虚像の道化師／東野圭吾
- 〃 桜ほうさら／宮部みゆき
- 〃 ダイニング・アイ／東野圭吾
- 〃 天皇(めい)の刺客／澤田ふじ子
- 〃 つくもがみ、遊ぼうよ／畠中恵
- 〃 ナミヤ雑貨店の奇蹟／東野圭吾

### 児童書

- 1 かいつゾロリシリーズ／原ゆたか
- 2 10びきのかえるはじめてのキャンプ／間所ひさこ
- 3 バムとケロのシリーズ／島田ゆか
- 4 くっついた／三浦太郎

### AV資料

- 1 おじゃる丸／潮ロード機・影丸はマロモ大蔵／大地丙太郎
- 〃 崖の上のポニョ／宮崎駿監督
- 3 爆笑スーパーライブ第3集／綾小路きみまろ
- 〃 ハリー・ポッターと死の秘宝PART2／デビッド・イエーツ監督

### 中央図書館の「夜のお話会」

日時 **7月28日(日)18:00~**  
 場所 中央図書館ブラウジングコーナー  
 語り手 「穂高絵本とお話の会」のみなさん  
 対象 小学生以上(中学生以下は保護者同伴)



## 本のソムリエ(職員)のおすすめ本

### 一般書 『人を動かす』



D・カーネギー著／山口博訳／創元社

すでにお読みの方も多いのではないでしょうか。日本国内で430万部以上売り上げており、ビジネス書のおすすめ本として、必ず上位に入っている名著です。タイトルのとおり、人を動かすための原則が書かれています。

この原則というのは、「人を動かす」というよりも「自分が変わることで周りをその気にさせる」という表現が合っているかもしれません。

一度、この本を読んでもらうと、普段の行動を反省するようになり、まずは小さな成功が増えていくことと思います。(中央図書館一般書担当)

### 児童書 『二分間の冒険』 岡田淳／偕成社



校庭でダレカという黒ネコと出会った悟は、不思議な世界へととばされてしまいます。竜が支配する世界で、“一番確かなもの(ダレカ)”をみつけないと元の世界へ戻れないと知った悟の長い長い二分間の冒険が始まります。

たった二分間で大冒険とは信じられないかもしれませんが、本当におこったできごとなのです。ドキドキ、ワクワクがとまらない冒険物語です。(中央図書館児童書担当)

## 明科図書館開館10周年記念 松本猛講演会「東山魁夷—風景画の奥に隠された願い—」

講師プロフィール <絵本・美術評論家、絵本学会会長、ちひろ美術館常任顧問>



著書：『東山魁夷と旅するドイツ・オーストリア』『失われた弥勒の手』  
 『安曇野ちひろ美術館をつくったわけ』『ちひろ美術館の絵本画家たち』  
 『戦火のなかの子どもたち』物語』絵本『ふくしまからきた子』

日時 **7月20日(土)13:30~**  
 場所 明科子どもと大人の交流学習施設ひまわり ハーモニーホール  
 申込 電話または明科図書館窓口にて 先着70名 整理券を発行します

入場無料です。

### 編集・発行・お問い合わせ



中央図書館 ☎84-0111  
 豊科図書館 ☎71-4022  
 三郷図書館 ☎76-3078  
 堀金図書館 ☎72-5796  
 明科図書館 ☎62-1122

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索、予約もできます)  
<http://www.city.azumino.nagano.jp/tosho/index.htm>

### ※編集後記※

信濃毎日新聞の投書欄に「高校での朝読書本が好きになった」という見出しを見つけた。「始めた頃は面倒くさいと思っていたが、今ではその時間が楽しみになった」という。本年度の市図書館は、園や学校の図書館との連携を大事にし、子どもたちの読書生活を応援していきます。

